

2019年（令和元年）7月1日

{{所属}}
{{氏名}} {{敬称}}

Information News 第73号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2019年6月24日～2019年6月28日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
食品表示法の施行に伴い、一般用加工食品への栄養成分表示の経過措置の終了が2020年3月31日までと迫っています。

弊社では、新メニュー「栄養成分表示計算サービス」を開始致しました。

価格は1製品につき5,000円（税抜）です。

新メニュースタートキャンペーンとして、新メニューご依頼1件につき、次回の試験分析・異物検査等にご使用いただけるクーポン（2500円割引券）を2枚贈呈致します。

クーポン発券期間 2019年 7月1日 ～ 2019年11月30日

（発行上限枚数は400枚です。上限到達次第、発券期間内に終了する可能性がございます）

クーポン使用期間 2019年12月27日 午後5時まで

是非、この機会にご利用ください。

★★

<厚生労働省>

・薬生食輸発0627 第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について（フィリピン産アスパラガスのジフェノコナゾール）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000522666.pdf>

⇒生食発0627第2号「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」でジフェノコナゾールの規格基準が緩和されたため、フィリピン産アスパラガスの農薬ジフェノコナゾールについて、検査命令が削除されています。

・薬生食監発0627第7号「カナダから輸入される牛肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000523343.pdf>

・生食発0627第2号「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000523351.pdf>

⇒農薬ジフェノコナゾール、農薬スピロテトラマト、農薬テトラコナゾール、農薬トリホリン、農薬及び動物用医薬品フェニトロチオン、農薬フルトリアホール並びに農薬フルピリミンについて、食品中の残留基準値が設定されました。

食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法におけるカカオ豆の検体部位が改正されました。

次亜臭素酸水の成分規格が改正されました。

・薬生食基発0628第2号・薬生食監発0628第2号「食品中の食品添加物分析法」の改正について

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000524211.pdf>

・薬生食輸発0628第1号「平成31年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（生食用鮮介類に係る腸炎ビブリオ）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000524212.pdf>

⇒生食用鮮魚介類等に係る腸炎ビブリオの検査期間が、2019年6月末までから2019年7月末までと1か月間延長されました。

<農林水産省>

- ・G20大阪サミットにおける食品ロス削減に向けた取組について

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kankyoi/190627.html>

⇒食品ロス削減を呼びかける三角柱（「食品ロス削減国民運動シンボルマーク」である「ろすのん」を配置したデザインとし、日本語及び英語の2カ国語を準備。）合計50個程度を各レストランに設置予定とのことです。

- ・2019年度「こども霞が関見学デー」～水産庁イベントについて～

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/gyosei/190627.html>

⇒8月7日（水曜日）及び8日（木曜日）の2日間開催される2019年度「こども霞が関見学デー」において、お魚や海に関する各種イベントを実施します。

「お魚大使」さかなクンによるお魚セミナー（事前申込制/8月8日（木曜日）11時～11時30分開催予定）など。

- ・野菜の生育状況及び価格見通し（令和元年7月）について

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/engei/190628.html>

⇒指定野菜14種（消費量が多く、国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた野菜：ダイコン、ニンジン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ、サトイモ、タマネギ）について、7月の生育状況及び価格見通しについて公表されています。

- ・大型クラゲの出現状況等について（6月27日現在）

http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sign/190628_19.html

- ・令和元年度常盤・三陸沖カツオ長期来遊動向予測（6月～11月）

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sign/190628.html>

<消費者省>

- ・平成30年度食品衛生法等の表示に係る年末一斉取締り結果について

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/pdf/food_labeling_information_190625_0001.pdf

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/pdf/food_labeling_information_190625_0002.pdf

⇒昨年度の食品表示に関する一斉取り締まり結果が公表されました。

- ・食品表示の適正化に向けた取組について

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/pdf/food_labeling_information_190625_0003.pdf

⇒7月1日より、食品表示に関する一斉取り締まりが開始されます。重点監視項目として、経過措置が来年3月末と迫った新しい栄養成分表示に関する啓発が含まれています。

<消費者庁HP掲載の回収情報>

消費／賞味期限誤表記 4件

殺菌不良品／未殺菌品 2件

異物混入 1件

貝毒検出 1件

アレルギー表示欠落 1件

販売温度帯不備 1件

計10件（先週比±0件）

⇒殺菌不良、未殺菌による商品回収が2件発生しています。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★
包装後加熱品は、製造工程で正常に加熱処理を受けているかどうか（加熱履歴）を包材を測定することにより評価が可能な場合がございます。

膨張や変敗など、殺菌不良や未殺菌が疑われる場合に、客観的なデータをご提示致

します。

是非、お問い合わせください。

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に送信させていただいております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止させていただきます。
※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース係
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
TEL:043-237-5676 FAX:043-237-2912
URL:<https://food-analab.jp/>
